

# 宮柊二記念館だより

2017.3.31

第 46 号

発行 宮柊二記念館

TEL・FAX

025-794-3800



## 新緑の魚沼へ…

新潟・魚沼の冬は二年続きの小雪が伝えられ、二月を過ぎ予報どおりと思いきや、三月も八日になつてから積雪が六十cm近く増え、一五〇cmを超えることとなりました。

毎年のことながら、この地から離れられず、七十年近く堀之内に住んでいると雪の「苦しさ」を感じさせられる一方で、雪の「ありがたさ」も感じさせられます。

空ひびき土ひびきして吹雪する

寂しき國ぞわが生まれぐに

昭和二十〜三十年代、国道を含め除雪はもちろんだ道路整備も行き届かず、道つけ、雪下ろしに追われ、雪に埋もれて過す五ヶ月余、地域の人たちの思いを詠んだ柊二の短歌に込められた思いは…

平成四年十一月のオープンから二十五年目を迎える宮柊二記念館、特に「全国」の冠を付して開催している短歌大会は年を追って盛会となり、一万首を超える作品が寄せられるまでに成長しています。

とりわけ、ジュニア部門については、魚沼市内、新潟県内校をはじめ、東北から九州、近年は海外からも応募いただくなど、さらなる広がりが期待されるようです。

他方、一般の部をみますと応募者の固定化に高齢化が加わり当面の目標とする一千首の壁が立ち上がり、足踏み状態が続いています。

消雪は四月十日前後と伝えられ、魚沼にも躍動の春がやってきます。越後三山を仰ぎながら魚野川辺を歩く…新緑の新潟、宮柊二記念館においでくださいますようお待ちしております。

# 二二六六一首の応募

【一般の部】

最優秀賞

花冷えの所為にし妻はさりげなく腕からめくる 夜さくらの下

香川県 観音寺市

佐野 仁

選者賞（久我田鶴子選）

行きつけの山菜山に分け入ればやさしい眸をした羚羊に遭う

新潟県 魚沼市

大塚 明

選者賞（桑原正紀選）

妻は義母にこにこしながら嘘をつくこれ以上なき優しき嘘を

長崎県 長崎市

西 史紀

【ジュニア部門（小学生の部）】

最優秀賞

プラス部で金賞とれてうれいなクラリネットをやさしくなでた

新潟県 堀之内小学校

小幡 咲耶

選者賞（久我田鶴子選）

ひまわりはなつにさくはなぐんぐんとたかくのびるよいじはるよう

新潟県 小千谷小学校

平野 茉央

選者賞（桑原正紀選）

カーテンの向こうは夏の光かな父は畑のほうせきやさん

新潟県 今町小学校

小川 心愛

【ジュニア部門（中学生の部）】

最優秀賞

しわしわな歴史をもった祖母の顔笑ってできたしわだといひね

新潟県 栖吉中学校

山田野乃夏

選者賞（久我田鶴子選）

ショットからきれいなボール飛んでくる体いっばい伸ばして捕った

福岡県 立石中学校

米倉 愛

選者賞（桑原正紀選）

日焼けして水着ぬいでもまだ着てる夏の思い出体に残る

新潟県 燕中等教育学校

渡辺 理花

【ジュニア部門（高校生の部）】

最優秀賞

能面が無機質に叩く指の先トーク画面には（笑）があふれる

神奈川県 柏陽高等学校

高橋 芽衣

選者賞（久我田鶴子選）

静電気ピリツとしびれたドアノブで自分が生きてるとまた確かめた

神奈川県 柏陽高等学校

寺田 章悟

選者賞（桑原正紀選）

世界から吹き出すように咲いているあなたが好きと言った菜の花

千葉県 渋谷教育学園幕張高等学校

阿部 圭吾

## 第22回 短歌大会 応募状況

区分	応募作品数	応募者数
一般の部	966首	414人
ジュニアの部	11,695首	6,010人
（小学生）	2,848首	1,446人
（中学生）	3,406首	1,740人
（高校生）	5,441首	2,824人
総数	12,661首	6,424人

近年はマスコミ等でも、短歌がとりあげられる機会が増えているように感じられます。今回の大会でも高校生への応募は昨年より増えており、若年世代が短歌にふれる機会が増えているものと思われま

こういった状況のなか、宮柁二記念館短歌大会も、大きな大会にしていきたいと考えています。大勢の皆様参加をお待ちしています。

第二十二回全国短歌大会は、選者に久我田鶴子先生（地中海）、桑原正紀先生（コスモス短歌会）をお迎えして行いました。応募総数二二、六六一首は、昨年に次ぐ応募数でした。

平成二十八年十一月十二日には、堀之内公民館を会場に三百人を超える参加者をお迎えして、盛大な大会を開催することができました。

平成二十九年度も第二十三回となる短歌大会を予定しています。五月一日から応募受付を開始し、一般の部は七月三十一日、ジュニア部門は九月六日が締め切りの予定です。なお、表彰式については、今回同様に開催日を土曜日として計画しています。

【選者のことば】

## 選をおえて

### 桑原正紀

この短歌大会が発足して間もなくの第六回大会以来、二度目の選者を務めさせていただきました。今回は一般の部が約一千首、ジュニアの部が一万二千首に近いというたいへんな数の応募があり、そのいよいよの充実ぶりを嬉しく思いました。記念館の職員の皆様をはじめ、関係されている方々のご尽力に加えて、「宮柵二」という名前を冠した賞の魅力もあるのでしょうか。ご当地新潟が生んだ歌人、宮柵二がいままで愛され尊敬されていることもまたありがたい、嬉しく思った次第です。

宮柵二は、近代以降の短歌、とりわけ戦後短歌を語る上において欠かすことのできない歌人です。太平洋

戦争での敗戦は、目に見える形での大損失を招きましたが、それ以上に日本人がこらえた精神的な喪失感には計り知れません。

そんなときに宮柵二という歌人は、短歌作品を通して戦後の暗く混沌とした時代に明かりを灯したといえるでしょう。といっても、短歌はごく短い詩形ですし、スローガンのように直接なことを主張する道具ではありません。宮柵二も、ただ日常生活の中で起伏する感情や目の前の光景を詠みつけただけなのです。しかし、そのきわめて個人的な営為が、じわじわと多くの人々の共感を呼びました。歌人はもとより、多くの知識人や市民が宮柵二という歌よみの

言葉に耳を傾けました。

そのことは、短歌を作る意味を考えるときにも大きなヒントになります。自分の日常生活をまず大切に、その生に発した言葉を汲み取るということこそ短歌の基本があるということでしょう。感動を呼ぶ作品は、かならずそういう背景をふまえていると確信します。これからもどうぞ自分の生を真摯に生き、そこからピュアな言葉を掬い上げて、ますますいい作品をお寄せください。

—「入選作品集」より再掲

### 桑原正紀（くわはらまさき）

1948年広島県生まれ。  
1973年、コスモス短歌会入会。  
1976年、コスモス「桐の花賞」を受賞。1985年、同人誌「棧橋」を高野公彦らと創刊。1990年、コスモス賞およびコスモス評論家賞を受賞。2009年、短歌研究賞を受賞。現在、「コスモス」選者、編集委員。  
歌集、歌書に『一天紺』『妻へ。千年待たむ』『天意』『歌の光芒』『宮英子の歌』『花西行』などがある。



【選者のことば】

## 生きることに根ざしつ

### 久我田鶴子

第二十二回宮柵二記念館全国短歌大会の選者をつとめさせていただきました。光栄なことでした。

私の所属する「地中海」の創刊者は、香川進といえます。その香川進が戦後もつとも意識していた歌人は、宮柵二であったと思います。二人とも戦場へ赴き、戦後も戦争体験を深く負って生きた歌人ですが、そのことに対する身の処し方、生の根源的なものを求める姿勢、そして何より歌人としての資質において、宮柵二を意識せずにはいられなかったのでしょう。昭和二十四年十月には、自宅に釈道空、前田夕暮を招き、『山西省』の会を開くというようなこともあったようです。この度の選者の

お話につきましても、こうしたご縁に導かれてのことと嬉しく思っています。

選歌は、膨大な応募作品を前にして、なかなか大変なことでした。迷いながらも、生きることに根ざした歌、生活の場や周囲の人々、社会へと、視野の開かれた作品が目がとまりました。ジュニアの部では、募集の期的なものもあってか

夏休み 花火大会 かき氷 蟬の鳴き声 ポケモンGO

と一首つくりたくなるほどでしたが、その中にも光る作品に巡り会うことができて嬉しかったです。短歌の五七五七七のリズムを活かした、生き生きとした動きのある歌。自己

の内面を見つめる歌や、現代をすどく突く歌にも若い感覚が呼び込むリズムが感じられて、こうしたところから新たに生み出されてくるものに大いに期待させられました。

短歌はやればやるほど難しいという声も聞きますが、こうでなければならぬということとはほとんどなく、きつともつとも自由な表現していいのだらうと思います。私も短歌を作り続けて四十年余り（！）になりましたが、このところ、作家における自己解放 などということをお考えたりしています。

—「入選作品集」より再掲

### 久我田鶴子（くがたづこ）

1955年、千葉県生まれ。  
大学在学中に作歌をはじめ、1977年「地中海社」に入社。  
小野茂樹の作った羊グループに所属。30代より「地中海」編集委員。  
大学卒業後30年間、高校教諭として勤務した。定年まで8年を残して職を辞し、現在、「地中海」編集人、現代歌人協会理事。  
歌集に『転生前夜』『島恋行』『雨を見上げる』『菜種梅雨』など8冊、歌書に『雲の製法—小野茂樹ノート』がある。



柗二没後三十周年の企画展を振り返って

## 歌壇で活躍中のコスモス 歌人から色紙を提供

平成二十八年は、昭和六十一年十二月に宮柗二が逝去してから三十年目の節目の年でした。歌人・宮柗二を語るうえで欠かすことのできない業績は「コスモス」短歌会です。宮柗二がおこした「コスモス」短歌会は、今も二千人を超す会員を有する我が国最大の短歌結社として宮柗二の思いを伝えていきます。

今回の企画展ではコスモス歌人が師・宮柗二を詠んだ作品を中心に紹介しました。



### コスモス歌人の直筆色紙

今回の企画展はコスモスの協力のもと、宮柗二と親交のあった歌人二十三人から直筆色紙をお寄せいただきました。前号の宮柗二記念館だよりでもその一部を紹介させていただきましたが、柗二への思いが込められた素晴らしい展示になりました。

### 柗二の歌集とコスモスの展示

中央のケースでは宮柗二の歌集を展示し、壁面の展示ケースではコスモスの創刊号から創刊五周年記念号



等の節目のコスモスを展示しました。

今回の企画展は、宮柗二から少し離れて、コスモスやコスモス歌人にスポットを当てて展示しました。訪れた来館者の中には、柗二本人の使用していたものを含め、柗二を感じさせるものが少ないといったご意見も寄せられました。このようなご意見も参考に今後の展示も考えていきたいと思えます。また、コスモスをはじめとした関係者のみなさまにはこれからも御協力いただきたいと存じます。

## 新資料紹介

平成28年度も貴重な資料をいただきました。深く感謝申し上げます。今後も大切に保存させていただきます。

### 宮柗二ゆかりの音声・映像資料

宮布由樹様から宮柗二ゆかりのビデオテープやカセットテープをお借りし、DVD・CDに複製し所蔵資料として保管しました。複製した資料には昭和50年代、60年代の宮柗二講演会等の音声記録や宮柗二記念館において開催された宮英子氏の記念講演の映像も残されており大変貴重な資料となっております。





## 平成28年度 事業報告

今年度は、宮柊二没後30周年記念企画展、第22回となる短歌大会などを中心に、各種の事業を実施しました。

### 28年度実施事業について

◎5月14日

宮柊二没後30周年記念  
「コスモスにつどう歌人たち」展  
オープンセレモニー（テープカット）  
記念講演「柊二のおもいで」  
講師 山本 清氏

◎7月2日～8月21日

21回全国短歌大会 ジュニア部門特別賞展

◎7月24日

講演会「私記録詠のころ」

講師 岡崎康行氏

◎8月6日～8月21日

中林一夫 絵画展

◎9月10日～9月25日

滝澤治 絵画展

◎11月12日

第22回宮柊二記念館全国短歌大会

選者講評 久我田鶴子氏 桑原正紀氏

◎11月12日～12月16日

短歌大会選者・特別賞受賞者自筆色紙展

◎1月22日

短歌セミナー

講演会「柊二と歌びとたち」

講師 田宮朋子氏

市内小中学校 校で短歌出前教室を行いました。

◎7月15日 広神西小学校

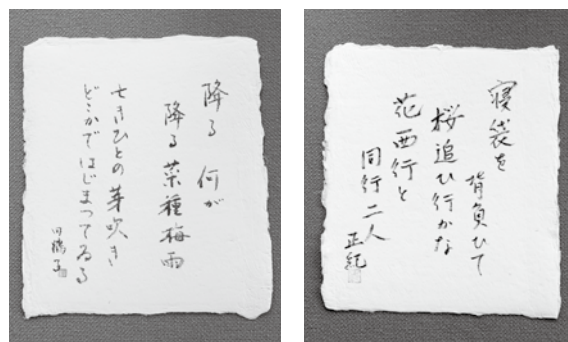
◎9月1日・2日 堀之内小学校

### 短歌セミナー 「柊二と歌びとたち」



1月22日、歌人の田宮朋子先生を迎え「柊二と歌びとたち」と題して短歌セミナーを開催しました。企画展示にご協力いただいた歌人の代表歌や宮柊二との関係性などを解説いただきました。

### 第22回短歌大会特別賞受賞者展



第22回の選者・久我田鶴子先生、桑原正紀先生の作品の色紙をはじめ、今大会で特別賞を受賞された皆様の自筆作品を、11月12日から12月16日まで、一階ホールで展示させていただきました。

平成二十九年年度

## 宮柊二記念館 事業計画

企画展示では、宮柊二の生涯をテーマに行う予定です。また全国短歌大会をはじめ、多くの方々に当館を知ってもらえるよう活動を展開します。

### ◎平成二十九年年度 企画展示

・テーマ 「宮柊二の生涯Ⅱ」

・期間 五月十三日(土)

### ◎第23回全国短歌大会

・募集開始 五月一日(月)

・締め切り

一般の部 七月三十一日(月)

ジュニアの部 九月六日(水)

・内容

作品は二首 一、〇〇〇円

海外からの応募、ジュニア部門

(高校生以下)は無料。

### 【短歌大会】(表彰式)

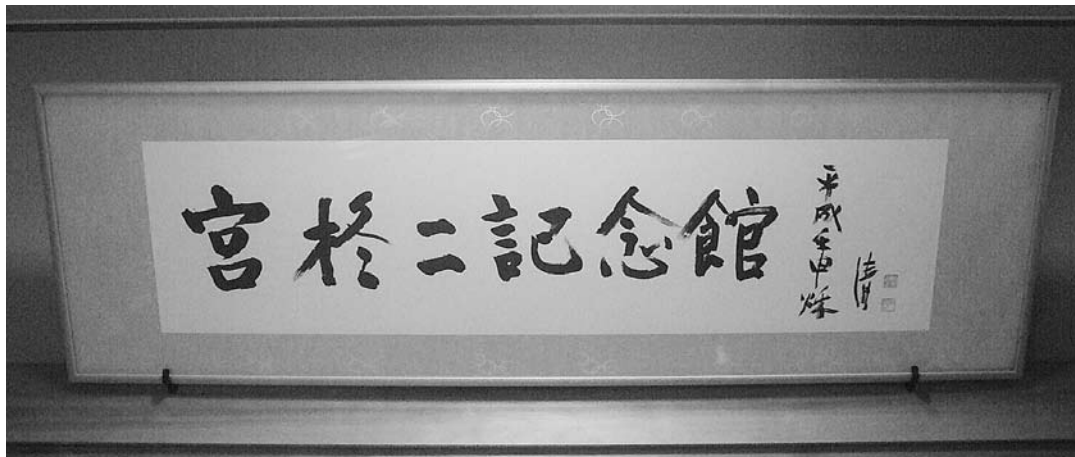
・日時 十一月十一日(土)

・会場 堀之内公民館

(魚沼市堀之内一三〇)

この他にも、「記念館短歌教室」や「ジュニア短歌教室」など各種事業を行っていく予定です。

「宮柁二記念館」 扁額



宮柁二記念館収蔵資料紹介 No.46

記念館エントランス窓口上部に掲出された「宮柁二記念館」と書かれた扁額は、開館にあたり野村清氏（静岡県生れ 明治40～平成9）から揮毫いただいたものです。野村先生は、コスモス創刊時の発起人のほか、選者を務められるなど、草創期からコスモス短歌会の中核として活躍された方です。

越後の歌人良寛・八一・柁二を訪ねる旅

〜高野公彦先生とともに〜

当館も訪問先になっております。

NHK学園学習の旅で、「越後の歌人 良寛・八一・柁二を訪ねる旅」高野公彦先生とともに」が五月に開催予定となっております。高野公彦先生と共に新潟県内の各所をまわる豪華な内容となっております。当館も訪問先のひとつに入っております。ご興味のある方は左記連絡先にお問合せください。



◆日 程 五月十六日(火)〜十八日(木)

◆参加費 東京駅集合解散 103,900円

浦佐駅集合新潟駅解散

86,100円

◆募集人数 30名(最小催行 20名)

◆申込締切 平成29年4月21日(金)

◆参加申込 NHK学園通信講座センター学習の旅係

TEL 042-572-3151(代)

FAX 042-572-0061

「友の会」からのお知らせ

宮柁二記念館では、会員を募集しています。年会費は1,000円(税別)。

くわしくは、宮柁二記念館へお問合せください。

宮柁二記念館だより 第46号

発行 2017. 3. 31

問合せ 宮柁二記念館 (〒949-7413 新潟県魚沼市堀之内117-6) TEL・FAX 025-794-3800

メール miya-museum@city.uonuma.niigata.jp ホームページ <http://www.city.uonuma.niigata.jp/miyashuji>